

## 活動報告

### 西野津子ども会 ピザ作りと棒巻きパン体験

8月18日、炊事棟において、親子6組の参加でピザ作りと棒巻きパンの体験を行いました。八代農業高校泉分校より3人の生徒がボランティアで参加、棒巻きパンを焼く担当をし、大人顔負けの指導に感動しました。ピザの焼きには時間が掛かりましたが、おいしそうに頬張る親子の姿がほほ笑ましかったです。

### くまもと森づくり応援フェア参加

8月24・25日、ゆめタウンはませんにおいて行われた「くまもと森づくり応援フェア」に参加しました。今回の体験は「桜の木のコースター作り」。公園の桜の枝を輪切りにした物を使い、紙やすりで磨いて鉛筆で下絵を描き、ルーターという電動彫刻刀で削って完成というものです。ルーターを見るのも触るのも初めての人が多く、子どもたちは初めは恐る恐る、慣れてきたらどんどん削って完成していました。この2日間は、大学生インターン4人と里山クラブでんごろす家族会員の高校生2人がボランティアをしてくれ、とても楽しい2日間となりました。



▲コースターづくり

### 竜北東小学校 宿泊通学

8月28日から30日にかけて、里地屋敷において、竜北東小学校の宿泊通学を行いました。活動着に着替えて調理班、お風呂班、ご飯班に別れて活動を行います。里地屋敷の作業は初めてで、延々と薪を割る子もいれば、五右衛門風呂前のかまどで暑さに耐えながら、火を消さぬよう頑張る子、初めての包丁に恐る恐る野菜を切る子など、さまざまでした。みんなで協力して作った夕食は格別で、おかずもご飯も残らないような食べっぷりでした。



▲早く食べたいな

2日目ともなれば、みんな慣れたもので、自分たちできちんと声を掛け合い、協力しながらの作業を行っていました。たった2泊3日の活動でしたが、子どもたちの成長していく姿を少しでも見られたことにスタッフ一同感動しました。

### 宮原小学校 宿泊通学

9月4日から6日にかけて、里地屋敷において、宮原小学校の宿泊通学を行いました。男女合わせて36人という大所帯でしたが、素直な子たちばかりで、説明もしっかりと聞いていました。今回は調理班、お風呂班、ご飯班に加え、宿題班として先に宿題を終わらせ、配膳などの手伝いを行う班を増やしての実施でした。ナタや包丁、火を扱ったことのない子ばかりでしたが、自分なりに必死に注意点を思い出しながら作業を進めているように見えました。



▲出来上がりが楽しみ

▲一人で割れるよ!

2日目の野外活動は、増水のため水棲生物の観察が行えず、屋敷内活動のロープワークを行いました。一見難しそうに見えるものでも、図をしっかりと見ることです。班のあちこちで出来上がった歓声が聞こえていました。2日目の班行動は、みんなで声を掛け合いながら協力して、作業を行いました。みんな積極的に動き回り少しずつ成長していく子どもたちに、未来の可能性を感じる宿泊通学となりました。

## イベント情報

### 野外で米粉4回シリーズ 簡単・ヘルシー米粉の使い方教室

- 1回目 10月27日(日) ホワイトソースでドリア
- 2回目 11月16日(土) ピザ作り
- 3回目 12月15日(日) ケーキ作り
- 4回目 1月12日(日) ドーナツ作り

- ◆参加費：2,000円(材料費、保険料含む)
- ◆申込方法：立神峡公園管理組合に連絡のうえ、氏名、住所、年齢、連絡先をお伝えください。※定員5組(先着順)
- ◆持参品：エプロン、飲み物、手拭き用タオル

お問い合わせ・お申し込み先  
立神峡公園管理組合 ☎62-1543 tategamikyuu@yahoo.co.jp (8:30~17:30 火曜定休日)

## 町民文芸

### 短歌

- 歳行きて琴線きんせんふれる事薄し  
ケネデイ暗殺遠き驚き  
法道寺 本田 花風
- 浄まりし野津の小川に水草の  
白き花咲きメダカ泳ぎぬ  
北野津 宮本 末秋
- 羽搏きて白鷺群れ飛び立てり  
呼び合ふ声を空にひろげて  
高塚 桑原ゆき代
- 農人の遺き汗の結晶の  
稲穂に台風かぜの迂回祈らむ  
吉本 高橋 澄子
- ツアー旅行旅の終りは柳川の  
船にゆられて白秋しのぶ  
西野津 古崎スエノ
- 球児らの嬉し涙は甘い味  
悲しい時の塩味の海に  
南鹿野 尾崎 京子
- 終りたり十七回忌の年法要  
我も歳なり是が最後か  
吉本 橋村 正之

### 俳句

- プランターに水をやりつつ登校の  
子供と交す朝の挨拶  
西野津 古崎 栄子
- 悔しさと優勝の喜び甲子園  
日本を背負ふ若人育つ  
高塚 竹中 力
- 西睡さいに遙か暮れゆく茜雲  
無辺の空に希望をつなぎて  
桜ヶ丘 宮崎敬四郎
- 風立てば風に向かつて赤とんぼ  
北野津 宮本 末秋
- 梨熟るる村にとどろき鳥おどし  
高塚 桑原ゆき代
- そよ風に揺る、若穂のうねりかな  
吉本 高橋 澄子
- 我が家にもくまモンの来て夏終わる  
西野津 古崎スエノ
- 地を割りて秋風芽ぶく彼岸花  
南鹿野 尾崎 京子
- 目葉の溢れてしみる秋の夕  
西野津 古崎 栄子
- 夜学の子只ひたすらにベタル踏み  
町 香山菊童子
- 月昇る五輪をめざし行きゆかむ  
町 香山セツ子

肥後の富士一雨来そうな雲の峰  
高塚 竹中 力

借命しよんの声とも聞こゆつくつくし  
桜ヶ丘 宮崎敬四郎

佇めば秋月はるか山の端はに  
桜ヶ丘 吉田 照子

青栗や風にさゆらぎ峯遙か  
町 田中 澄子

双手あげ太極拳で秋掴む  
桜ヶ丘 宮崎トシ子

ライオンの虫歯  
吉本 橋村 正之

たてがみ風になびかせて  
威風堂々他を圧す  
百獣の王ライオンの  
抱える悩みが虫歯とは  
見た目は悠揚迫らねど  
内心ホトホト大弱り  
止らぬ痛みに苛立つて  
気を外らさんと吠えまくる  
弱肉強食厳しさは  
ライオンとても容赦せぬ  
弱み見せれば忽ちに  
ハイエナ共が襲い来る  
これが虫歯で良かったな  
病気だったらお陀仏よ  
思う矢先にまた疼く  
痛い痛い痛い飛んで行け

### 私説

“孤独を抱える男女は「非日常」を求め、扉を開く”桜木紫乃「ホテルロイヤル」直木賞受賞後の新聞広告のポップが誘惑する。初版1.5万部が既に20万部突破、表紙の写真裸婦の背中が呼びかける。八月、40万部突破と聞いて急きよこの原稿も繰り上げ登板、年明けでは香りが醒め世間の関心が薄くなる。四十八歳の彼女の生活が一挙に潤うことになるだろう。  
実家のラブホテル、客が帰った後の部屋の掃除など子供の時から手伝っていたそう、客層の違いなど子供心に感じていたそうである。  
作品はタイトルのイメージとは違い作者の目線が程よいとか。自分は作品を買うつもりはないが、書店のポップに踊らされて何処まで売れ続けるのだろうか…。  
【次号、後編へ続く】

投稿いただきました作品は、短歌・俳句それぞれ一句とします。必要な場合は、ルビを付けてください。  
また、確認のためお電話することもあります。ご連絡先の記入をお願いします。

